

えいせい

都庁職衛生局支部ニュース **432号**

2008年11月12日発行

発行責任者 支部長 小野塚洋行

印刷63-210 電話03-3349-1501

業務職給料表の見直し提案に固執することなく、都労連の意見をふまえて検討

11月12日ストライキの中止について

2008年11月11日

都労連戦術委員会

1. 経過

11月12日の1時間ストは、政府・総務省の現業・教員を中心に据えた地方公務員賃金引き下げ攻撃、交渉否定や官公労に対する攻撃、全国的な賃金カット等を背景に、都側が提案ありきで都労連要求を拒否して自らの主張を一方的に押しつける態度を許さず、そのような不当な態度を都側がとるなら、一方的な態度を変えさせ、提案を撤回して、都労連要求を真摯に検討し、交渉の場で回答する立場に立たせることを獲得目標に据えた。

昨年のように、弾圧を策動してまで一方的実施の姿勢を示すことを許さない力関係をつくり上げて、要求実現を目指す戦術設定でもある。

都側は、予想したように、自らの提案と主張を押しつけ、都労連要求に対してはまともに検討状況も示さない不当な姿勢に終始した。

このような状況を受けて都労連は、11月10日には現業・非現業・教員一体となった現業総決起集会、要請行動を展開し、本日11日の小委員会交渉で都側を質したが、検討中を繰り返す姿勢であり、都側の姿勢に起因して交渉は膠着状態となった。この事態打開に向けて、明日の1時間ストを背景に単組書記長による要請行動を展開した結果、総務局長より委員長会談の申し入れがあり、午後4時30分より総務局長・委員長会談を行った。

その内容は別紙の通りである。

2. 戦術判断について

12日の戦術設定は、確認したように都労連の存在と力を示すことによって交渉促進、要求実現に向けた前段の攻防であり、その意味で、都労連の道義のもとに今後における布石を打ち、労使協議での解決を確認し、現業提案をはじめとして提案に固執せず速やかに検討して示すことを確認した。

総務局長・委員長会談の結果は、昨日の2000名を超える総決起集会・デモと要請行動、各単組における、提案撤回・現業要求実現にむけた任命権者に対する厳しい取り組み、都労連交渉と一体となつての教育関係単組における任命権者との厳しい協議などを積み上げてきている反映である。

現業の提案については、提案を更に検討し示すことを確認した。しかし、今後、都側が再度不当な態度に終始することは十分に予想される。我々は絶えず警戒し、団結を強めて、道義性を手から離さずに自主決着にむけた闘いを進める体制を強化し、都側に要求実現を迫り決断の圧力を加えていかななければならない。

都側の強硬な姿勢を押し返したことの上に立って明日12日の1時間ストライキについては中止し、都側に我々の決意を示し、職場から闘いの意思統一をするために明日29分の時間内職場大会を実施することとするが、単組事情は尊重するものである。

総務局長 ⇄ 都労連委員長 会談 (20.11.11)

〔総務局長〕

- 10月30日の団体交渉での、委員長の発言は重く受け止めています。
- 私どもの立場は、同日の団体交渉で、副知事から申し上げた、「労使協議で解決を図る」という発言のとおりで、それに変わりはありません。
- 私どもの、業務職給料表の見直しをはじめとする提案に対しては、都労連の皆さんから、大変厳しいご意見をいただいているとの報告を受けております。
- 私どもとしては、検討を重ね、提案としてお示したところですが、都労連の皆さんからのご意見を斟酌して更に検討を進め、結果を速やかに示すよう指示しました。
- また、皆さんからの要求に対する検討状況についても、速やかに交渉の場で示し、精力的に協議するよう指示しましたので、よろしくお願いします。

<都労連委員長>

- 今の、総務局長のお話を確認したい。
- 業務職給料表の見直し提案に固執することなく、都労連の意見を踏まえて検討し、速やかに示すことと、都側が一方的な交渉態度を改め、都労連要求に対する検討状況を交渉の場で示し、交渉に臨むということで受け止めてよいか。

〔総務局長〕

- そのように受け止めていただいて結構です。

<都労連委員長>

- 確認した。残り時間も僅かである。
- 繰り返し申し上げるが、我々は労使協議を尽くして自主解決を図る立場である。
- ついては、都側の態度が原因で交渉が膠着状態となっているのであるから、ただ今の局長発言については、再開した交渉の場で明らかにしていただきたい。

〔総務局長〕

- 分かりました。では、そのように指示します。